

大きく育ったリーフレタスを初めて収穫。住民に配られました



1/18 収穫



12/7 播種

苗床は1枚に120個程のくぼみがあるスポンジのシート。1粒ずつ種を播いていきます

12/22 定植



苗床のスポンジは切れ目にそってサイコロ状に分割し、定植用のボードにはめていきます

植物工場にチャレンジしています

伊達東応急仮設住宅の空室に設備を入れ、N.T.T.ファシリティーズの支援により、住民の交流の場として植物工場の試験運用が始まりました。仮設住宅の役員が中心となって作業を行い、

この取り組みのスタートを支えています。12月から取り組んでいるリーフレタスの栽培は、1か月に1度収穫するペースで行われ、今後は品種を変えたりしながら栽培を続けていく予定です。

工場の中は

②



①



③



整。それから工場内の状態は携帯端末でも確認できます

①保温と防虫のため育成用の一室はシートで囲まれています②水耕栽培の水や液肥等を管理する装置③室温はエアコンで調整。それから工場内の状態は携帯端末でも確認できます

1/19・20

いいたて&いいざか 交流イベント



▲形もいろいろカラフルなバルーンアート

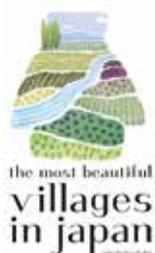
▶体育館でフットサルを楽しむ子どもたち



福島市飯坂町で、村と飯坂町の有志による交流イベントが開かれました。19日は大島中学校で、飯館中学校のサッカー部員らがフットサルのゲームを通して交流を楽しみました。また「いやしの宿いいたて」では、両日バルーンアートの実演と、豚汁・焼きそば等の振る舞いがありました。さらに20日には飯坂町商工会青年部の皆さんによる餃子の振る舞いも、2日間で200人以上が来場し、大人も子どもも笑顔で交流を楽しみました。

表紙の写真 平成25年飯館村成人式

和やかな中にも礼をわきまえ、式を大切にする新成人の姿が印象的でした。記事はP10・11をご覧ください。



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

校庭で雪遊びに興じていた子どもたち。楽しそうなおうすにほっとしながらも雪道運転は恐怖です(み)ふるさとや家族への思いを語る新成人の皆さんの真っ直ぐな笑顔。晴れやかだまぶしかったです(ほ)

編集後記



南極観測隊に同行取材をした朝日新聞の中山由美さんによる「南極教室」が開かれました。南極の氷をコップの水に入れ、閉じ込められていた太古の空気が弾ける音を聞いて、遠い南極に思いを馳せる子どもたちでした。

1/24 南極の氷の声を聞いたよ 草野・飯櫃・白石小学校